



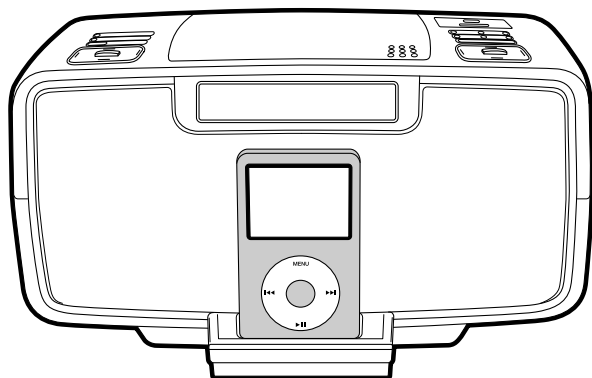
SOUNDLOOK

家庭用

ステレオCDシステム

SDI-1100

取扱説明書（保証書別途添付）



このたびはサウンドルックスステレオCDシステムをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。正しくご使用いただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。なお、お読みになられたあとも、保証書とともにお使いになる方がいつでも見られるところに大切に保管してください。

目次

- 安全上のご注意・・・・・・・・・・1～3
- お使いになる前に・・・・・・・・・・4
- 各部のなまえ・・・・・・・・・・5～6
- 設置のしかた・・・・・・・・・・7
- ラジオを聴くには・・・・・・・・・・8
 - プリセットの使いかた・・・・・・・・・・8
- CDを聴くには・・・・・・・・・・9
 - プログラム演奏・・・・・・・・・・10
 - リピート/ランダム演奏・・・・・・・・・・10
- MP3/WMAファイル再生の前に・・11～12
- MP3/WMAファイルを再生するには・・13
 - USB機器/SDカードから・・・・・・・・13
 - MP3ディスク/WMAディスクから・・13
 - MP3/WMAファイル再生時の操作・・14
 - プログラム演奏・・・・・・・・・・15
 - リピート/ランダム演奏・・・・・・・・16
- iPodに取り込んだ音楽データを再生するには・・17～18
- 時計の合わせかた・・・・・・・・・・18
- アラームの使いかた・・・・・・・・19～20
 - スヌーズ機能について・・・・・・・・20
- 外部機器の音を聴くには・・・・・・・・20
- スリープ機能について・・・・・・・・21
- イコライザー機能について・・・・・21
- お手入れのしかた・・・・・・・・・・21
- 故障かな？と思われるときは・・・・・22
- 仕様・・・・・・・・・・・・・22
- アフターサービスについて・・・・・23

小泉成器株式会社

安全上のご注意

*ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

*ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる方や他の人への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。



警告

誤った取扱いをしたときに、死亡または重傷を負う可能性があるもの



注意

誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負ったり、物的損害の可能性のあるもの

絵表示例と絵表示の意味



○ 記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



● 記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

※お読みになられた後は、お使いになる方がいつも見られるところに必ず保管してください。

警告



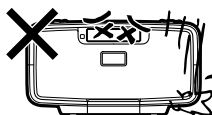
煙や異臭、異音が出たり、落下や破損したときはコンセントからACアダプターを抜く

そのまま使用すると、事故の原因になります。
必ず使用を中止し、販売店に修理をご依頼ください。



機器内部に異物や水などが入った場合は、本体のスイッチを切り、コンセントからACアダプターを抜く

そのまま使用すると、事故の原因になります。
必ず販売店にご相談ください。



機器内部に金属物や燃えやすいものを入れない

事故や故障の原因になります。



電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）使用しない

火災・感電の原因となります。



風呂場では使用しない

火災・感電の原因となります。

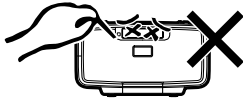
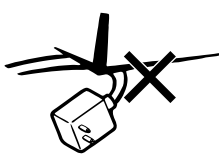


表示された電源電圧（交流100V）以外の電圧で使用しない

火災・感電の原因となります。



⚠ 警告

	本体の通風孔、CDの挿入口などから金属類や燃えやすいものを差し込んだりしない お子様のいるご家庭ではご注意ください。 	 万一、この機器を落としたり、破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、ACアダプターをコンセントから抜く そのまま使用すると火災・感電の原因になります。
	電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない コードが破損して火災・感電の原因となります。 	 雷が鳴ったら、ACアダプターを抜く 落雷や誘電雷により感電・やけど・機器の焼損の原因となります。 使用しているときはすぐに機器から離れてください。 
	電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本体の下敷きにならないようにする コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。 コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重いものをのせてしまうことがあります。 	 濡れた手でACアダプターを抜き差ししない 感電の原因となる場合があります。 
	 改造はしない 修理技術者以外の人は分解したり修理をしない 事故やケガの原因となります。修理はお買い上げの販売店または「サービスセンター」にご相談ください。 	

⚠ 注意

⊘	ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない 落ちたり、倒れたりしてケガの原因となることがあります。 	⊘	異常に温度が高くなるところに置かない 機器の変形・変質・火災・故障の原因となることがあります。直射日光の当たる高温の自動車内には置かないでください。 
	油煙や湯気が当たるような場所に置かない 火災・感電の原因となることがあります。 		電源コードを熱器具に近付けない コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。 

⚠ 注意

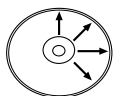
湿気やほこりの多い場所に置かない 火災・感電の原因となることがあります。 レーザー光線をのぞき込まない (CD部) レーザー光が目にあたると視力障害 を起こすことがあります。 指定以外の乾電池は使用しない また新しい乾電池と古い乾電池 を混ぜて使用しない 乾電池の破裂・液もれにより、火災 ・けがや周囲を汚損する原因となる ことがあります。 乾電池は加熱したり、分解した り、火や水の中に入れない 乾電池の破損・液もれにより、火災 ・けがの原因となることがあります。	旅行などで長期間、ご使用にな らないときは必ずACアダプター をコンセントから抜いておく 火災の原因となることがあります。 お手入れの際は安全のためACアダ プターをコンセントから抜いて行う 感電の原因となることがあります。 ACアダプターを抜くときは電 源コード引っ張らない コードが傷つき、火災・感電の原因 となることがあります。 移動させる場合は、電源スイッ チを切り、必ずACアダプター をコンセントから抜き、外部の 接続コードを外してから行う コードが傷つき、火災・感電の原因 となることがあります。
テレビ、オーディオ機器スピー カ等の接続する場合は、各々の 機器の取扱説明書をよく読み、 電源を切り、説明に従って接続 する リモコンの電池のプラス・マイナ スは正しく入れる 電池の発熱・破裂、液もれにより、 火災、ケガや周囲を汚損する原因と なることがあります。 リモコンの電池は幼児の手の届 かないところに保管する 万一飲み込んだ場合に はただちに医師とご相談ください。 はじめから音量を上げすぎない 突然大きな音が出て、聴力障害などの原因 となることがあります。特にヘッドホン をご使用になるときは 注意してください。	長時間使用しないときはバック アップ用乾電池、リモコンの電 池を取り出しておく 電池の液もれで回路が ショートし、火災・ケ ガ・汚損の原因となる ことがあります。 幼児がCD挿入口に、手を入れ ないように注意する ケガの原因となる ことがあります。

お使いになる前に

CDについて



※記録面に触れないように、CDの端を持ってください。



※CDに指紋や汚れが付いたときは、やわらかい布などで、中心から端へとふき取ってください。



※再生面やラベル面に、紙やテープなどを貼らないでください。またラベルがはがれたCDは使用しないでください。



※ひびやそりのあるディスクは絶対に使わないでください。



※ハート型など特殊形状のCDは使用しないでください。機器の故障の原因となります。

※CD-R/RWに記録されたCDは、再生できない場合があります。

※コピーガード付きのCDは、再生できない場合があります。

使用・保管場所について

次のような場所では使用・保管しないでください。

- 直射日光を浴びる場所や暖房器具のそば
- ちりやほこりなどの多い場所
- 風呂場など湿気が多い場所
- テレビやチューナーなどのそばでCDプレーヤーを演奏すると、雑音や画像の乱れが起こる場合があります。できるだけ離すか、同時使用を避けてください。
- CDプレーヤーのレンズにほこりがつかないように、使用しないときはCDドアを閉めておいてください。また、レンズにさわらないようにしてください。

結露について

- CDプレーヤーのレンズが結露したり、水滴がついたままになっていると正しく演奏できない場合があります。
- 暖房直後の部屋、湯気や湿気の多いところ、寒い場所から急にあたたかいところに移動したときなどは、電源を入れ1～2時間たってから使うようにしてください。

お願い

- キャッシュカードや定期券などの磁気カード類、録音テープ、時計などを近付けないでください。
- 本体の分解改造は絶対にしないでください。
- 温度が低い環境で操作されますと、まれにCDドアの開閉動作が遅くスムーズでない場合があります。その場合は、あたたかい場所に移動し、しばらくしてから使うようにしてください。

付属品

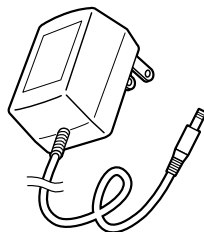
※以下の付属品が同梱されていることを確認してください。



取扱説明書×1



保証書×1



ACアダプター×1
(型番: SAD-9012)

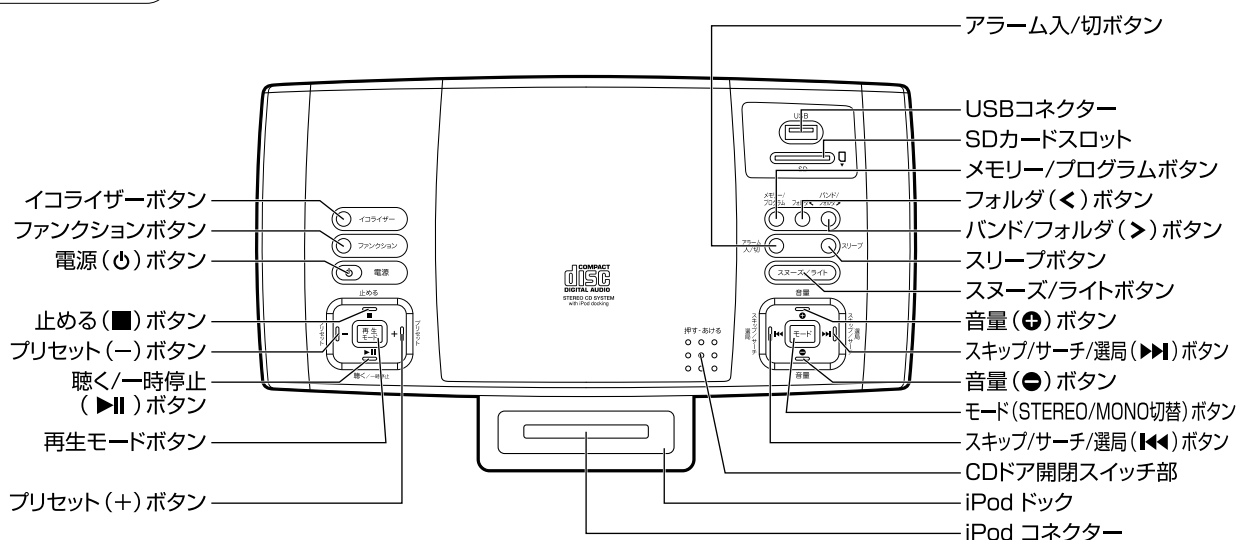


リモコン×1
(ボタン電池付属)

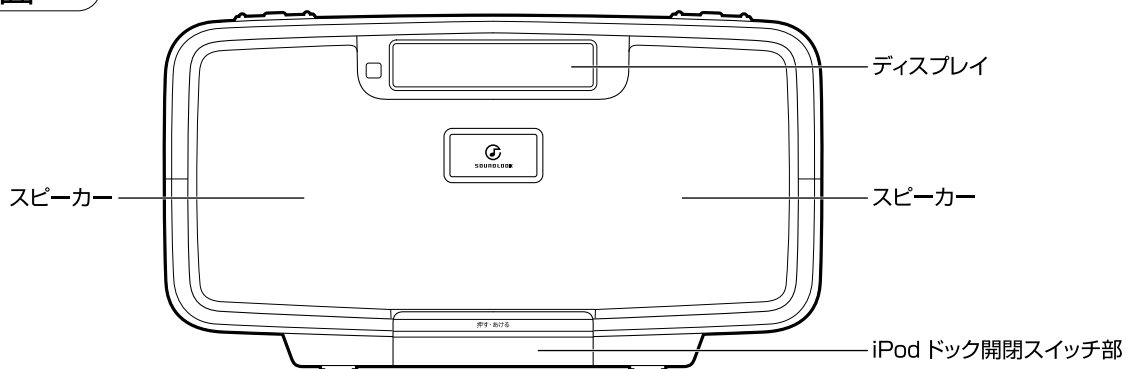
万一故障した場合はお買上の販売店にご相談ください。

各部のなまえ

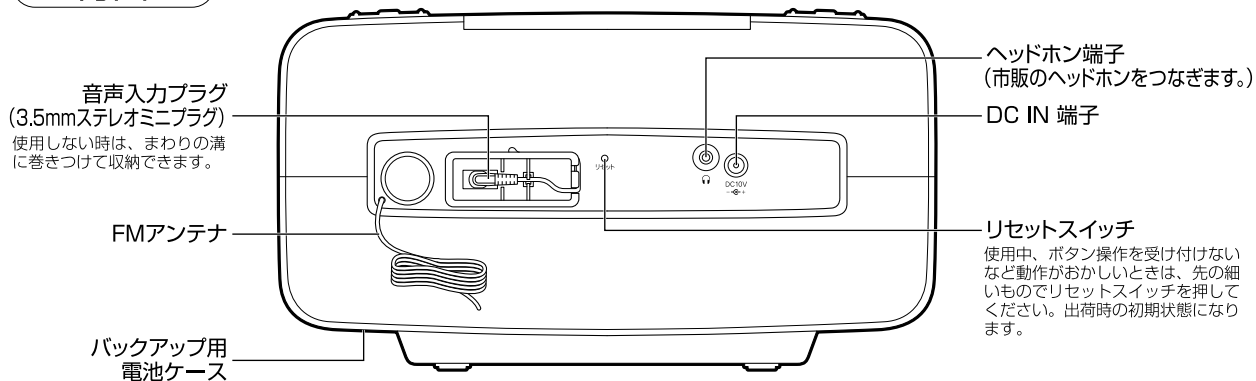
上面



正面

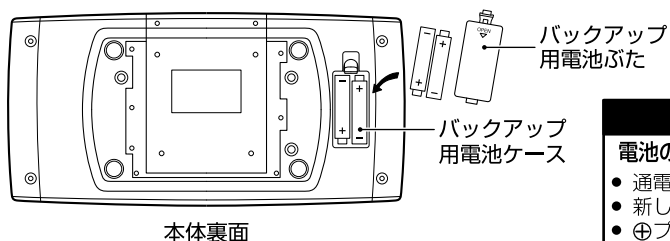


背面



バックアップ用電池交換のしかた

単4形アルカリ乾電池2本(別売)を極性(+、-)を間違えないようにバックアップ用電池ケースに入れてください。



ご注意

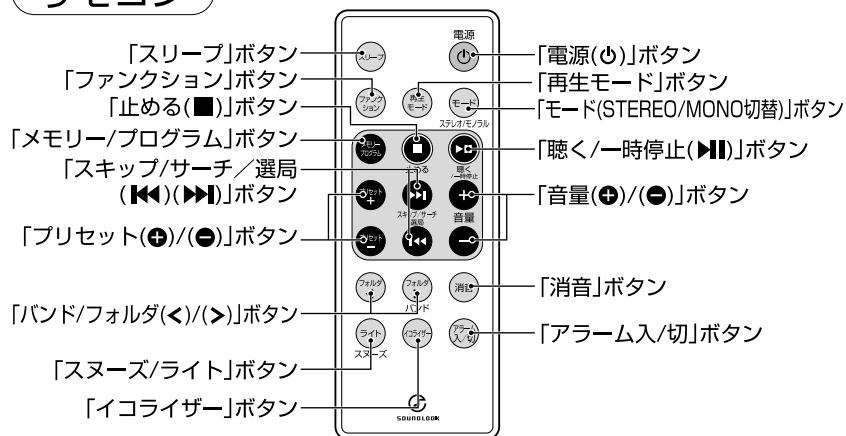
電池の破損・液もれ防止のために次のことはお守りください。

- 通電状態で長時間未使用の場合、液もれを起こすことがあります。
- 新しい乾電池と古い乾電池、異なった種類は混ぜないでください。
- ⊕プラスと⊖マイナスは正しく入れてください。
- 火の中への投入や、ショート、分解、加熱などはしないでください。

バックアップ電池について

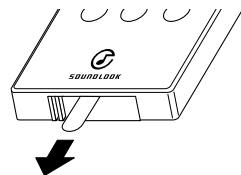
- 停電時などに、時刻設定・プリセット設定などを一時的に記憶しておくための電池です。

リモコン

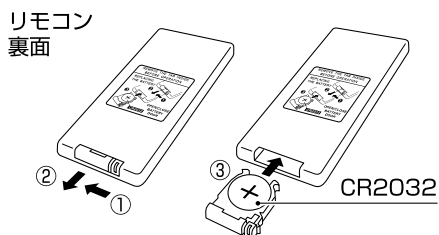


お使いになる前に

はじめてお使いになるときに、リモコンの電池シートを矢印の方向に引き抜いてください。



リモコン用電池交換のしかた



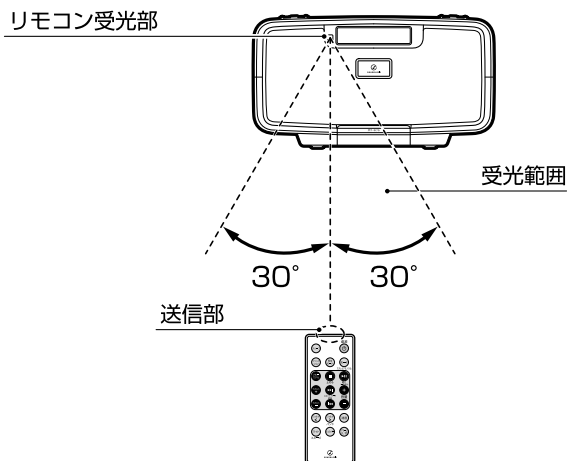
ボタン電池CR2032(付属)を極性(+、-)を間違えないように入れてください。

ご注意

電池の破損・液もれ防止のために次のことはお守りください。

- 長期間未使用の場合、液もれを起こすことがあります。
- 長期間使用しないときは、ボタン電池を取り出しておいてください。
- ⊕プラスと⊖マイナスは正しく入れてください。
- 火の中への投入や、ショート、分解、加熱などはしないでください。

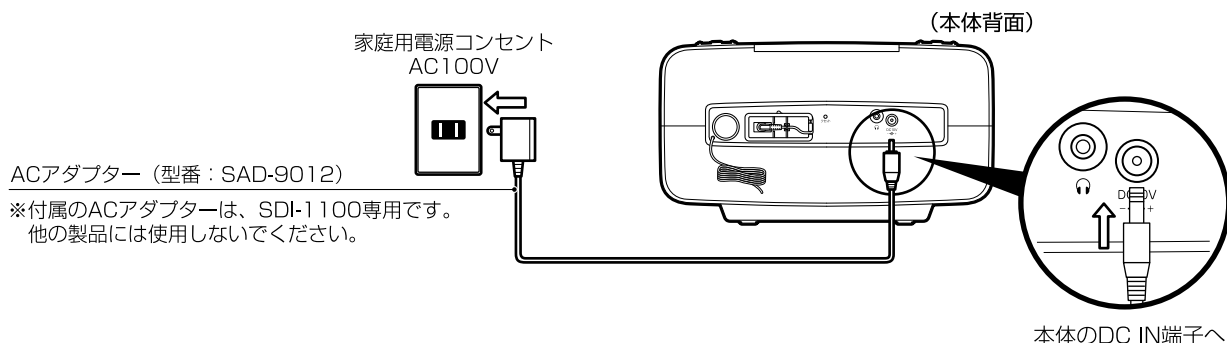
リモコンの使いかた



設置のしかた

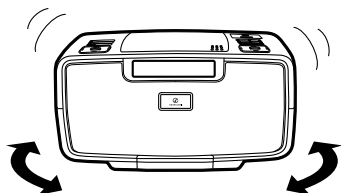
電源コードの取り扱い

- ACアダプターをコンセントから抜くときは、必ずACアダプターを持って抜いてください。コードを引っ張ったり、濡れた手でさわるとショートや感電の恐れがあります。
- 電源コードの上に重いものをのせないでください。コードに傷がついて、火災や感電の原因になります。

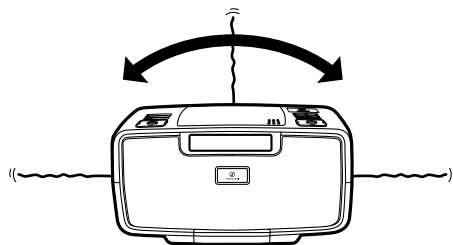


設置場所について

- ラジオをきれいな音でお楽しみになるには、なるべく窓ぎわの電波の届きやすいところに置いてご使用ください。



AM放送の場合
本体を動かし、もっとも良く聞こえるところに設置してください。
（アンテナは本体内蔵）



FM放送の場合
できるだけ高いところに
アンテナを張ってください。

ラジオを聴くには

- 1 「電源」ボタンを押す。
- 2 「ファンクション」ボタンを押してラジオモード (AMまたはFM) に切り換える。
・ラジオモード時は「FM」または「F.M」と周波数がディスプレイに表示されます。
- 3 「バンド/フォルダ ▶」ボタンを押し、AMまたはFMを選択する。

手動受信する場合

- 4 「スキップ/サーチ/選局(◀▶)」ボタンで聴きたい放送局に合わせる。

自動受信する場合

- 4 「スキップ/サーチ/選局(◀▶)」ボタンを長押しする。
オートチューニングになり、受信できる放送局を探します。
- 5 上記の操作を繰り返して、聴きたい放送局に合わせる。

- ・FM放送受信時、ステレオ/モノラルを切り換えるには、「モード(STEREO/MONO切替)」ボタンを押します。
- ・ラジオを切るには「電源」ボタンを押します。

プリセットの使いかた

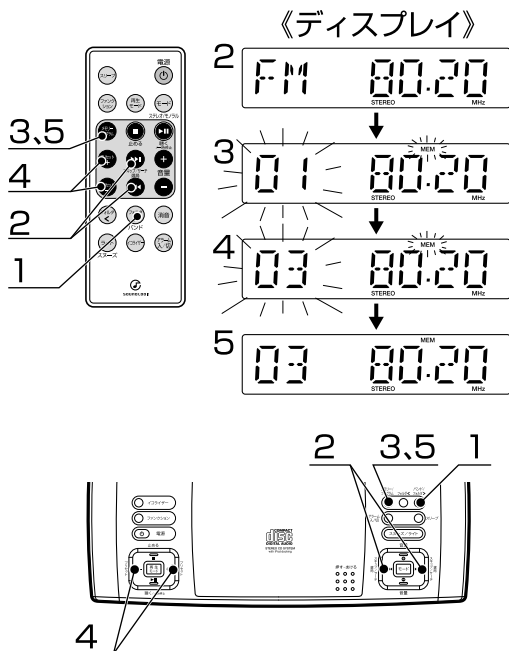
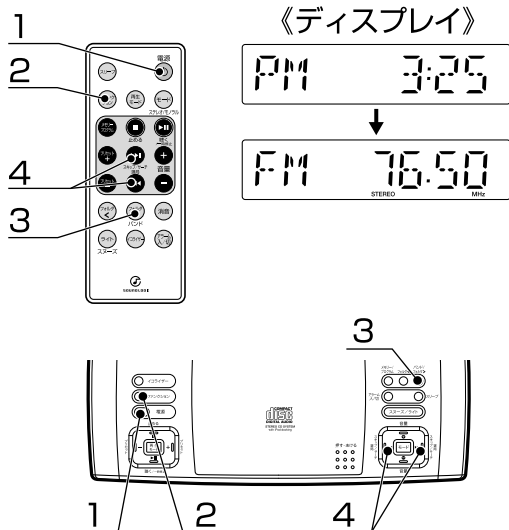
お好みの放送局をAM10局、FM10局まで記憶させておき、簡単に呼び出すことができます。

放送局を登録する

- 1 ラジオモード時に、「バンド/フォルダ ▶」ボタンを押し、AMまたはFMを選択する。
- 2 「スキップ/サーチ/選局(◀▶)」ボタンを押し、お好みの放送局に合わせる。
- 3 「メモリー/プログラム」ボタンを押す。
「MEM」とメモリー番号「01」が点滅表示されます。
10秒間操作しないと、元の状態に戻ります。
再度「メモリー/プログラム」ボタンを押して操作してください。
- 4 「プリセット +/ー」ボタンを押し、登録するメモリー番号を選択する。
- 5 再度「メモリー/プログラム」ボタンを押し、確定させる。
ご注意 「メモリー/プログラム」ボタンを押し、確定しない限り記憶されません。記憶させる場合は必ず「メモリー/プログラム」ボタンを押してください。
- 6 他の放送局を登録するには、上記2～5の操作を繰り返す。
新しい局を記憶させると、その番号に記憶されていた前の局は消えます。

登録した放送局を選択する

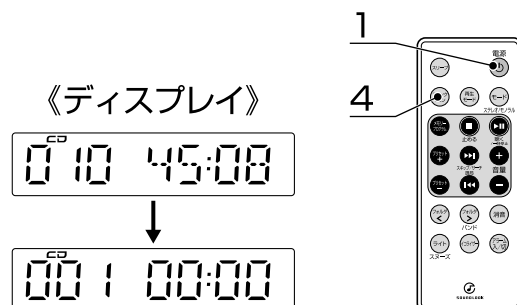
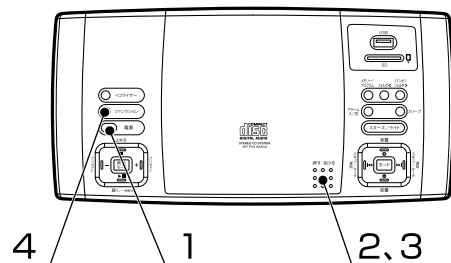
- 1 ラジオモード時に、「バンド/フォルダ ▶」ボタンを押し、AMまたはFMを選択する。
- 2 「プリセット +/ー」ボタンを押し、お好みの放送局に合わせる。
メモリー番号に対応した放送局の周波数が表示されます。
メモリー番号が表示されます。



CDを聴くには

1	「電源」ボタンを押す。
2	「CDドア開閉スイッチ部」を押しCDドアを開け、CDのラベル面が上面にくるようにしてセットする。
3	「CDドア開閉スイッチ部」を押し、CDドアを閉じる
4	「ファンクション」ボタンを押してCDモードに切り換える。 ・ CDモード時は「CD」がディスプレイに表示されます。 ・ 総曲数と総演奏時間が表示された後、1曲目から自動的に演奏が始まります。 ・ CDを入れずに放置しておくと、ディスプレイに「NO DISC」と表示されます。

- ・ 演奏を止めるには「止める(■)」ボタンを押します。
- ・ 一時的に停止させたいときは「聴く/一時停止(⏸)」ボタンを押します。もう一度押すと演奏に戻ります。
- ・ 演奏停止後、無操作の状態では約1分間経過すると、自動的に電源が切れます。



曲の頭を探す(スキップ)

- ・ CD演奏中に「スキップ/サーチ/選局(⏮)(⏭)」ボタンを押すと、前後の曲の頭出しができます。
「⏮」……演奏中の曲の頭に戻る。
(2回目以降は押すたびに前の曲の頭に戻る)
「⏭」……次の曲の頭に進む。
- ・ 演奏していない、または一時停止中に曲を探す。
「スキップ/サーチ/選局(⏮)(⏭)」ボタンを押す。
1回押すごとにそれぞれ曲の頭に移動します。
聴きたい曲の番号を選んだら、
「聴く/一時停止(⏸)」ボタンを押して演奏を始めます。

早送り・早戻しをするには

- ・ 早送り
演奏中に「スキップ/サーチ/選局(⏭)」ボタンを押し続けると、その間早送りします。
- ・ 早戻し
演奏中に「スキップ/サーチ/選局(⏮)」ボタンを押し続けると、その間早戻しします。
- ・ ボタンから指を離すと通常の演奏に戻ります。

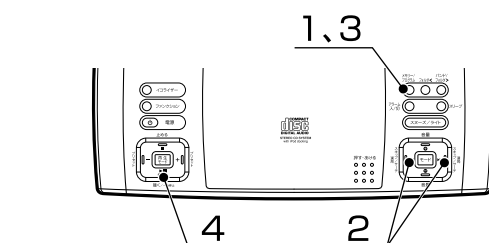
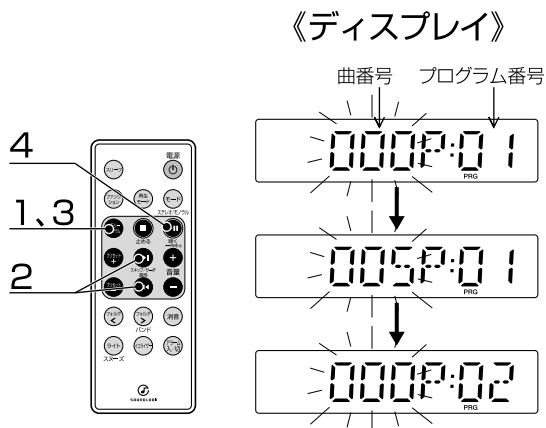
ご注意

- ・ 本機は、CD-R/RW録音機器で作成した音楽用CD-R/RWディスクの再生も可能です。ただし、ディスクや記録に使用したレコーダーの状態によって再生できない場合があります。
- ・ CD-R/RWを入れた場合、演奏できる状態になるまで15秒前後かかります。
- ・ コピーガード付のCDは再生できない場合があります。

プログラム演奏

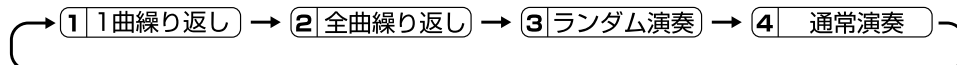
1	演奏停止状態で「メモリー/プログラム」ボタンを押す。 曲番号が点滅し、「PRG」とプログラム番号が点灯します。
2	「スキップ/サーチ/選局(◀▶)」ボタンでお好みの曲を選び、「メモリー/プログラム」ボタンを押す。 曲番号が点滅し、「PRG」とプログラム番号が点灯します。
3	上記の操作を繰り返して順に曲を選ぶ。 20曲までプログラムできます。
4	「聴く/一時停止(⏸)」ボタンを押す。 プログラム順に演奏します。

- プログラム演奏を終了するには「止める(■)」ボタンを押します。
- プログラム設定は演奏停止状態でのみ可能です。
- プログラムを解除するには、以下の操作のいずれかを行ってください。
 - 「止める(■)」ボタンを2回押す。
 - 電源を切る。
 - CDドアを開ける。
 - 「ファンクション」ボタンで他の操作(ラジオ/iPod/USB/SD/AUX)に切り換える。
- プログラムを解除すると、ディスプレイの表示はP.9の表示に変わります。



リピート/ランダム演奏

「再生モード」ボタンを押すごとに演奏機能が変わります。



押すたびに変わります

1曲繰り返し

お好みの1曲を繰り返し演奏します。
“↺”が表示されます。

- CD演奏中でも操作できます。

全曲繰り返し

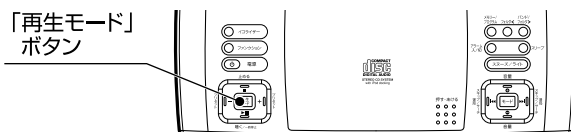
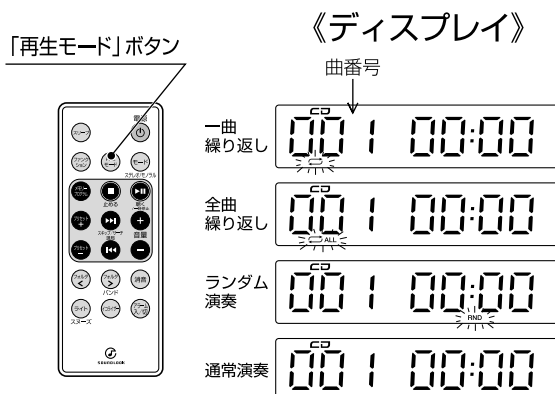
全曲を繰り返し演奏します。
“↺ ALL”が表示されます。

- CD演奏中でも操作できます。

ランダム演奏

全曲を無作為に演奏します。
“RND”が表示されます。

- CD演奏中でも操作できます。
その場合演奏中の曲が終了後、ランダム演奏に換わります。



MP3/WMAファイル再生の前に

本機で使えるメディア

USB機器

- USB端子には、USBマストレージクラス対応の機器を接続してください。万一、他の機器を接続して発生した故障や破損、データの損失などについては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

SDカード

- 64MB～2GBのSDカード、4GB～8GBのSDHCカードが使用できます。
- miniSD/miniSDHC™カード、microSD/microSDHC™カードは専用アダプターが必要です。

※SD, microSDおよびminiSDは、SDアソシエーションの登録商標です。

知っておいていただきたいこと

MP3/WMAファイル

- 本機で再生できるのはMP3/WMA形式の音楽ファイルのみです。
- 著作権保護付きの音楽ファイルは再生できません。
- ID3タグには対応していません。

USB機器

- 使用するUSB機器は、マストレージクラスに対応している必要があります。それ以外のUSB機器を使用すると、音楽ファイルが正常に再生できない場合があります。また上記規格に準拠したUSB機器でも種類や形状によっては正常に再生できない場合があります。
- USBマストレージクラス対応かどうかは、USB機器メーカーにお問い合わせください。
- 機器によっては、認識されるまでに時間がかかることがあります。

SDカード

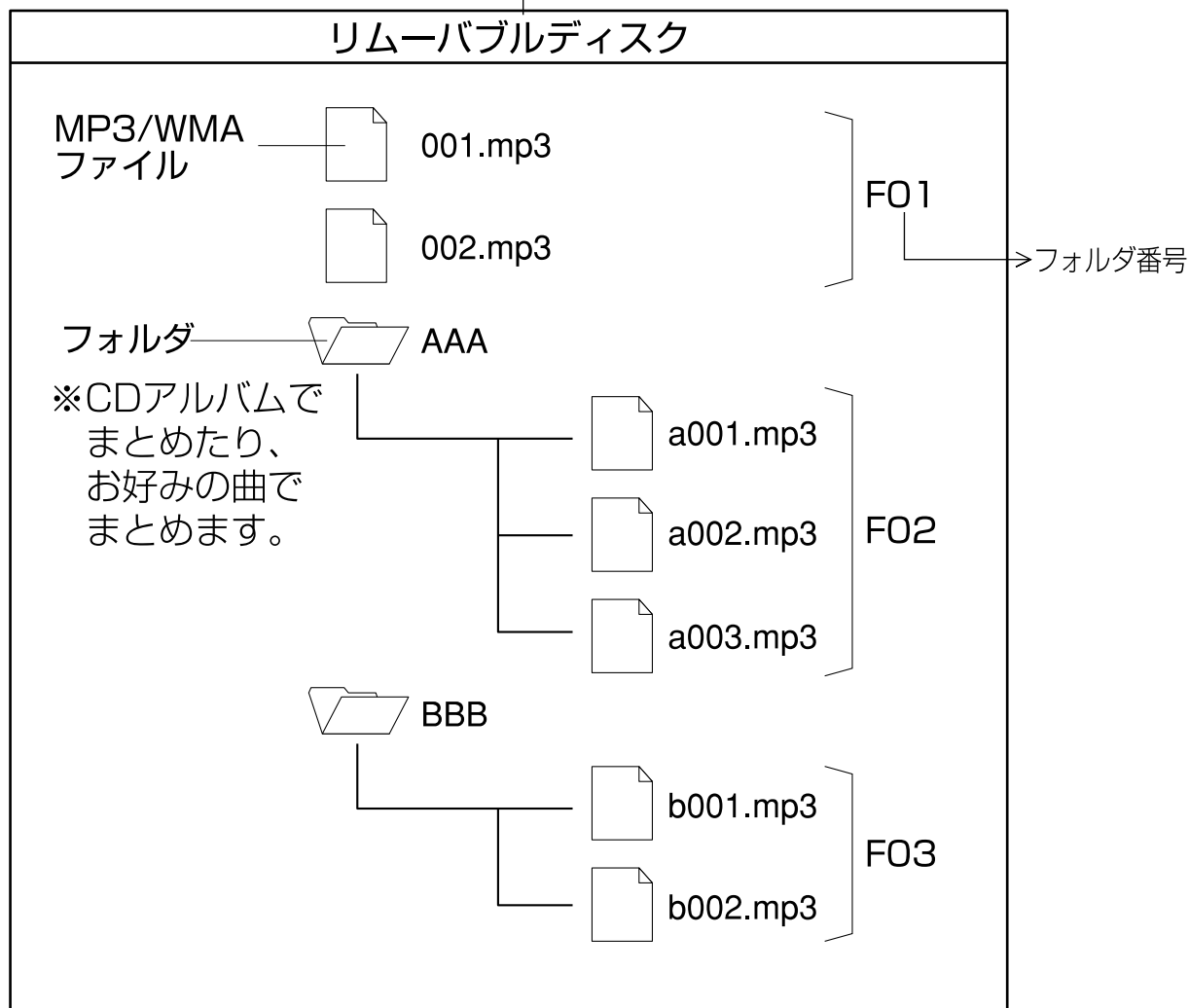
- 本機はSD規格に準拠したSDカードおよびSDHC規格に準拠したSDHCカードに記録されたMP3/WMAオーディオファイルを再生することができます。
- 基本的に64MBから2GBまでのSDカード、4GB～8GBのSDHCカードが使用できます。
- ミニSDカードやマイクロSDカードはSD変換アダプターが必要です。
- SDカード再生中に振動や衝撃を与えたり、引き抜いたりしないでください。データ消失や故障の原因になります。
- SDカード裏面の金属端子部を手や金属で触れないでください。
- 保管する際は必ずケースに収納し、極端に温度や湿度の高いところに置かないでください。

再生の準備

下図を参照しお手持ちのパソコンで、USB機器またはSDカードにMP3/WMAファイルを転送してください。

USB機器またはSDカード内の構成

→PC上でのUSB機器またはSDカードを示します。



- 上図のファイル名/フォルダ名は、説明の為便宜上つけたものです。実際に転送するMP3/WMAファイル名,フォルダ名を変更する必要はありません。
- リムーバブルディスク内にMP3/WMAファイルを直接転送した場合、本機はUSB機器またはSDカード自体をひとつのフォルダとして認識します。

MP3/WMAファイルを再生するには

USB機器/SDカードから

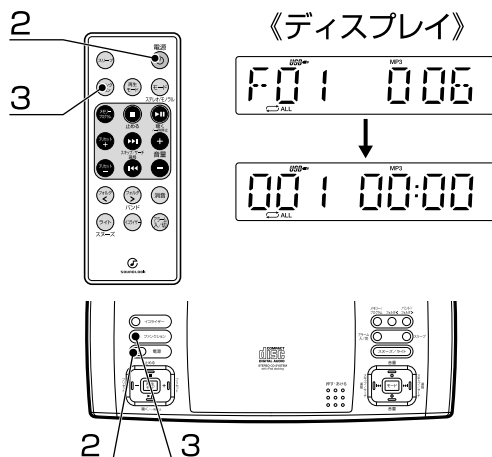
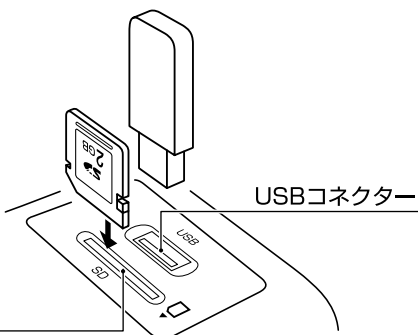
USB機器やSDカードに記憶したMP3/WMAファイルを本機で再生することができます。

- 1 USB機器あるいはSDカードを本機に差し込む。
- 2 「電源」ボタンを押して電源を入れる。
- 3 「ファンクション」ボタンを押して、USBまたはSDモードに切り換える。
 - USBモード時は「**USB**」が、SDモード時には「**SD**」がそれぞれディスプレイに表示されます。
 - 総フォルダ数と総曲数が表示された後、自動的に再生を始めます。
 - USB機器あるいは、SDカードを差し込まずに放置しておくと、ディスプレイに「**NO DISC**」あるいは「**NO FILE**」と表示されます。
 - MP3ファイル再生中には「**MP3**」が、WMAファイル再生中には「**WMA**」がディスプレイに表示されます。

- 演奏を止めるには「止める(■)」ボタンを押します。
- 一時的に停止させたいときは「聴く/一時停止(▶||)」ボタンを押します。もう一度押すと演奏に戻ります。
- 聴き終わったら、「電源」ボタンを押して電源を切ってください。
- 演奏停止後、無操作の状態約1分間経過すると、自動的に電源が切れます。

- SDカードは文字が書かれている面が手前になるように、SDカードスロットに差し込みます。

SDカードスロット

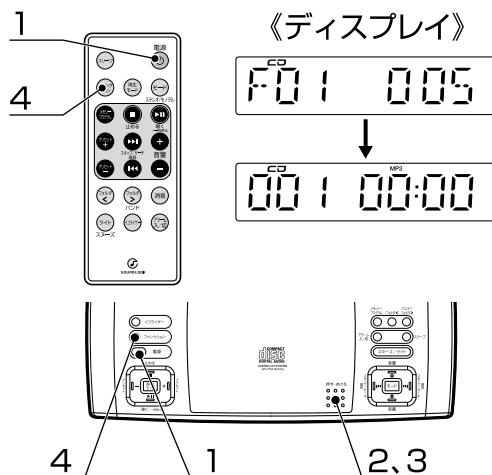


MP3ディスク/WMAディスクから

CD-RやCD-RWに直接音楽ファイルを記録したディスク(MP3/WMAディスク)を再生することができます。

- 1 「電源」ボタンを押す。
- 2 「CDドア開閉スイッチ部」を押しCDドアを開け、ディスクのラベル面が上面になるようにしてセットする。
- 3 「CDドア開閉スイッチ部」を押し、CDドアを閉じる
- 4 「ファンクション」ボタンを押してCDモードに切り換える。
 - CDモード時は「**CD**」がディスプレイに表示されます。
 - 総フォルダ数と総曲数が表示された後、自動的に演奏が始まります。
 - ディスクを入れずに放置しておくと、ディスプレイに「**NO DISC**」と表示されます。
 - MP3ファイル再生中には「**MP3**」が、WMAファイル再生中には「**WMA**」がディスプレイに表示されます。

- 演奏を止めるには「止める(■)」ボタンを押します。
- 一時的に停止させたいときは「聴く/一時停止(▶||)」ボタンを押します。もう一度押すと演奏に戻ります。
- 聴き終わったら、「電源」ボタンを押して電源を切ってください。
- 演奏停止後、無操作の状態約1分間経過すると、自動的に電源が切れます。



ご注意

- USB機器やSDカードによっては、本機で正常に再生できない場合があります。
- 再生できるデータはMP3/WMA形式のみです。WAVなど、別のファイル形式には対応していません。
- 本機からUSB機器またはSDカードを取り外すときは、再生を停止し、電源を切ってからゆっくりと引き抜いてください。
- 機器によっては、認識されるまでに時間がかかることがあります。
- ディスクや記録に使用したレコーダーの状態によって、再生できない場合があります。

MP3/WMAファイル再生時の操作

曲の頭を探す(スキップ)

- MP3/WMAファイル再生中、または一時停止中に「スキップ/サーチ/選局(⏮)(⏭)」ボタンを押すと、前後の曲の頭出しができます。

「スキップ/サーチ/選局(⏮)」

演奏中の曲の頭に戻る。

(2回目以降は押すたびに前の曲の頭に戻る。)

「スキップ/サーチ/選局(⏭)」

次の曲に進む。

- 再生停止中に曲を探す。

「スキップ/サーチ/選局(⏮)(⏭)」ボタンを押す。

1回押すごとにそれぞれ曲の頭に移動します。

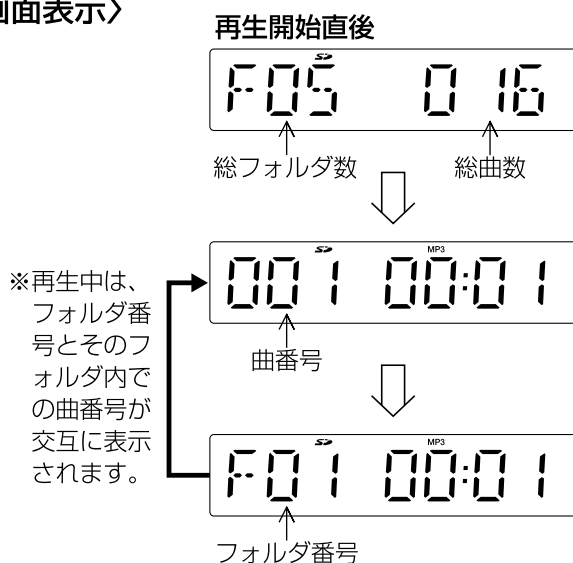
聴きたい曲の番号を選んだら、

「聴く/一時停止(⏸)」ボタンを押して再生を始めます。

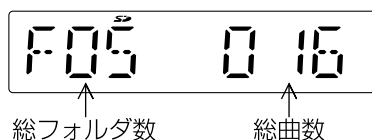
フォルダを選択する

- 「フォルダ(<)」ボタン、「バンド/フォルダ(>)」ボタン(リモコンの場合は、「バンド/フォルダ(<)>」ボタン)を押すと、前後のフォルダに移動することができます。

〈再生中の画面表示〉



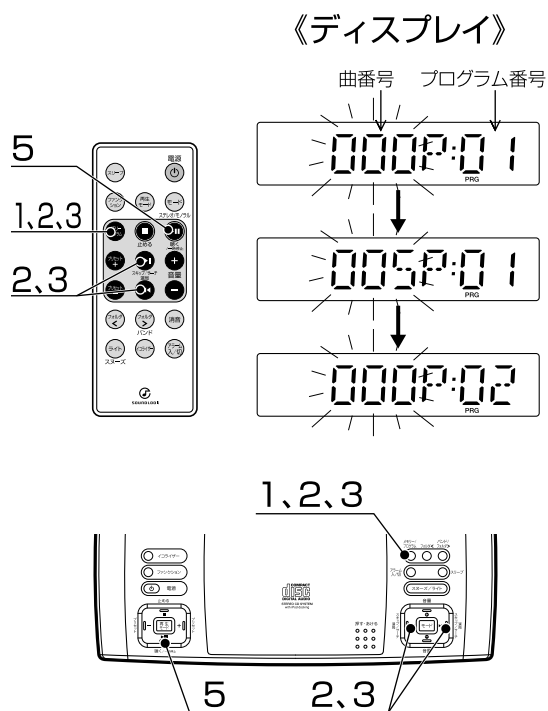
〈再生停止中の画面表示〉



プログラム演奏

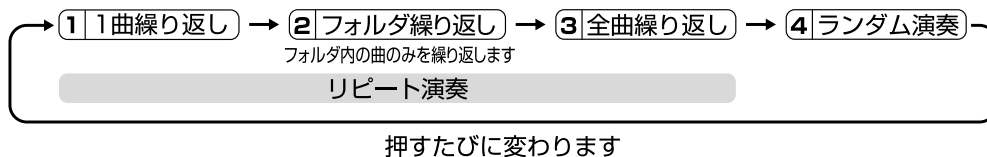
1	演奏停止状態で「メモリー/プログラム」ボタンを押す。 “00”が点滅し、“PRG”とプログラム番号が点灯します。
2	「スキップ/サーチ/選局(◀▶)」「メモリー/プログラム」ボタンで好みのフォルダ番号を選び、「メモリー/プログラム」ボタンを押す。 “000”が点滅します。
3	「スキップ/サーチ/選局(◀▶)」「メモリー/プログラム」ボタンで好みの曲番号を選び、「メモリー/プログラム」ボタンを押す。 “00”が点滅し、“PRG”とプログラム番号が点灯します。
4	上記の操作を繰り返して順に曲を選ぶ。 20曲までプログラムできます。
5	「聴く/一時停止(⏸)」ボタンを押す。 プログラム順に演奏します。

- プログラム演奏を終了するには「止める(■)」ボタンを押します。
- プログラムの設定は演奏停止状態でのみ可能です。
- プログラムを解除するには、以下の操作のいずれかを行ってください。
 - 「止める(■)」ボタンを2回押す。
 - 電源を切る。
 - 「ファンクション」ボタンで他の操作に切り換える。
- プログラムを解除すると、ディスプレイの表示はP.13の表示に変わります。



リピート/ランダム演奏

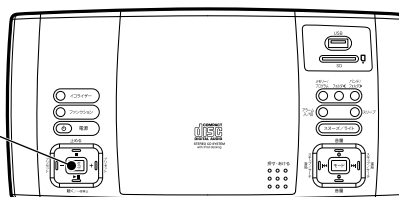
「再生モード」ボタンを押すごとに演奏機能が変わります。



「再生モード」ボタン



「再生モード」
ボタン



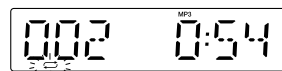
リピート演奏

1曲繰り返し

お好みの1曲を繰り返し演奏します。
ディスプレイに“”が表示されます。

《ディスプレイ》

1曲繰り返し



フォルダ繰り返し

フォルダ内の曲のみを繰り返し演奏します。
ディスプレイに“DIR ”が表示されます。

フォルダ繰り返し



全曲繰り返し

全曲を繰り返し演奏します。
ディスプレイに“ ALL”が表示されます。

全曲繰り返し



ランダム演奏

全曲を無作為に演奏します。
ディスプレイに“RND”が表示されます。

ランダム演奏中



- MP3/WMAファイル再生中でも操作できます。その場合、ランダム演奏については、演奏中の曲が終了後、ランダム演奏に変わります。

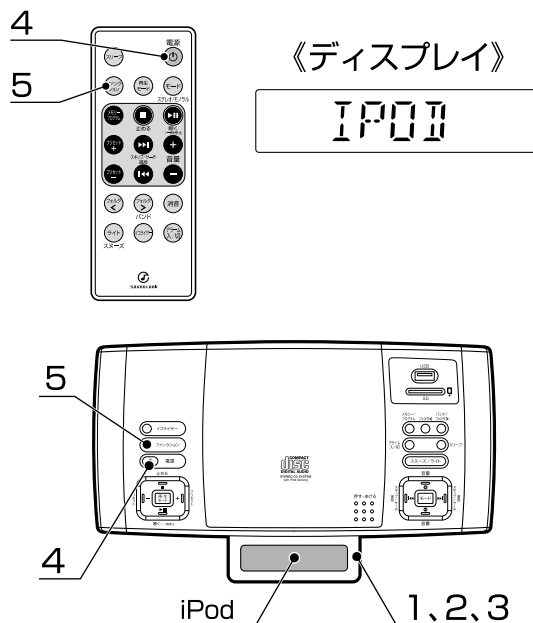
iPodに取り込んだ音楽データを再生するには

iPodと本体を接続する事により、iPodに取り込んだ音楽を本機で再生することができます。

- あらかじめiPodに音楽を取り込んでおいてください。

※iPodはApple Inc.の登録商標です。

1	「iPodドック引き出し部」を押して、iPodドックを引き出す。
2	iPodアダプター(iPodに付属または別売)をiPodドックにセットする。 ・お手持ちのiPodに合ったiPodアダプターをiPodドックにセットしてください。
3	iPodをiPodドックにセットする。 ・iPodをしっかり差し込んでください。
4	「電源」ボタンを押して電源を入れる。
5	「ファンクション」ボタンを押して、I Podモードに切り換える。 ・iPodモード時は「IPOD」(iPodがセットされている時) または「NO IPOD」(iPodがセットされていない時) がディスプレイに表示されます。 ・自動的にiPodの演奏が始まります。



- 演奏を止めるには「止める(■)」ボタンを押します。
- 一時的に停止させたいときは「聴く/一時停止(▶||)」ボタンを押します。もう一度押すと演奏に戻ります。
- iPodコネクターは左右に動かすことができます。ご使用になるiPodアダプターの形状に合うように調節してください。

曲の頭を探す(スキップ)

- 演奏中、または一時停止中に「スキップ/サーチ/選局(◀▶)(▶▶)」ボタンを押すと、前後の曲の頭出しができます。
「◀▶」……演奏中の曲の頭に戻る。
(2回目以降は押すたびに前の曲の頭に戻る)
「▶▶」……次の曲の頭に進む。

早送り・早戻しをする(サーチ)

- 早送り
演奏中に「スキップ/サーチ/選局(▶▶)」ボタンを押し続けると、その間早送りします。
- 早戻し
演奏中に「スキップ/サーチ/選局(◀▶)」ボタンを押し続けると、その間早戻しします。
- ボタンから指を離すと通常の演奏に戻ります。

iPod充電機能について

- 本機のiPodコネクターにiPodを接続する事で、iPodに充電することができます。(iPod/AUX/電源切モードでのみ充電可能) またiPod再生中でも充電されます。
- 「ファンクション」ボタンを押してモードを切り換えた時、iPodのバックライトが点灯する場合がありますが、異常ではありません。

本機で可以使用するiPodについて(2010年4月現在)

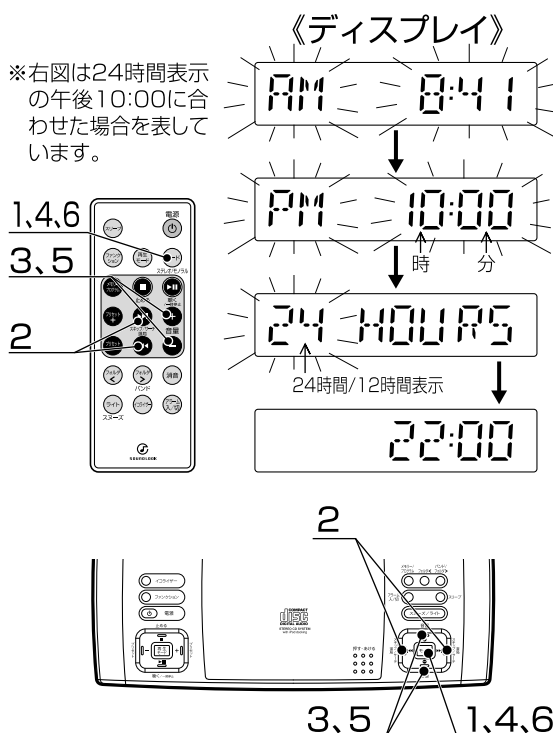
iPod touch 第1世代
iPod touch 第2世代
iPod nano 第1世代
iPod nano 第2世代
iPod nano 第3世代
iPod nano 第4世代
iPod nano 第5世代
iPod 第4世代
iPod classic
iPod mini

※ご使用のiPodまたはソフトウェアのバージョンにより、正しく動作しない場合があります。
※最新のiPodソフトウェアのご使用をおすすめします。

時計の合わせかた

- 約10秒間操作しないと、自動的に設定が保存され、初期状態に戻ります。

1	電源切の状態で「モード」ボタンをゆっくり3回押す。 時計表示が点滅表示されます。
2	「スキップ/サーチ/選局(⏮)(⏭)」ボタンを押して “時”を設定する。 はやく進める(戻す)にはそれぞれのボタンを長押しします。
3	「音量(⊕)(⊖)」ボタンを押して“分”を設定する。 はやく進める(戻す)にはそれぞれのボタンを長押しします。
4	「モード」ボタンを押す。 “12”または“24”が点滅します。
5	「スキップ/サーチ/選局(⏮)(⏭)」ボタンを押して “24時間/12時間表示”を設定する。
6	「モード」ボタンを押して設定を保存する。



■ アラームの使いかた

設定した時刻にお好みの音源を鳴らすことができます。音源は、電子音(BUZZER)・ラジオ・iPod・CD・USB・SDの6種類から選べます。あらかじめ「時計の合わせかた」(→P.18)を参照して時刻を合わせてください。

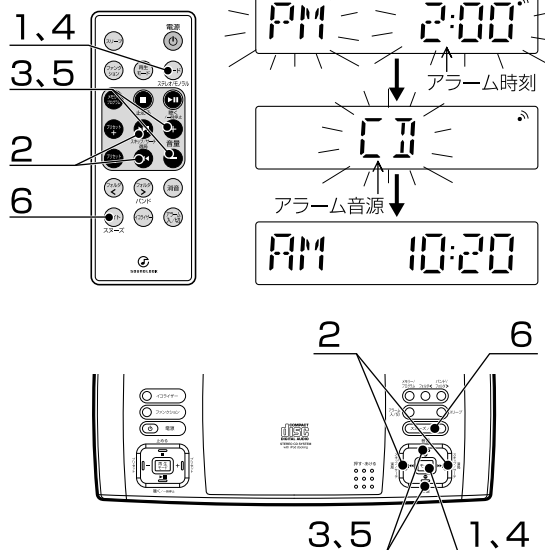
アラーム時刻を設定する

約10秒間操作しないと、自動的に設定が保存され、初期状態に戻ります。

1	電源切の状態で「モード」ボタンを1回押す。 アラーム時刻表示が点滅します。
2	「スキップ/サーチ/選局(◀▶)」「ボタンを押して “時”を設定する。 はやく進める(戻す)にはそれぞれのボタンを長押しします。
3	「音量(+)」ボタンを押して“分”を設定する。 はやく進める(戻す)にはそれぞれのボタンを長押しします。
4	再度「モード」ボタンを押す。 アラーム音源(BUZZER/RADIO/IPOD/CD/USB/SD)が点滅します。
5	「音量(+)」ボタンを押して、お好みのアラーム音源を選択する。 ・アラーム音源にラジオを選択している場合 あらかじめお好みの放送局に合わせておいてください。 ・アラーム音源にiPodを選択している場合 あらかじめ音楽データが入ったiPodをセットしておいてください。 ・アラーム音源にCDを選択している場合 あらかじめCDをセットしておいてください。 ・USB内の音楽データを再生する あらかじめUSBスロットに音楽データが入ったUSB機器をセットしておいてください。 ・SDカードの音楽データを再生する あらかじめSDカードスロットに音楽データが入ったSDカードをセットしておいてください。
6	「スヌーズ/ライト」ボタンを押して、設定を保存する。

《ディスプレイ》

※右図はアラーム音源にCD、アラーム時刻を午後2:00に合わせた場合を表しています。



ご注意

- ・アラーム音源にiPod/CD/USB/SDを選んでいるとき、アラーム時刻にiPod/CD/USB機器/SDカードが本体に接続されていなければ、自動的に音源が電子音に切り換わります。
- ・本機で再生できるデータはMP3またはWMA形式のみです。

アラームをセットする

- 1 「アラーム入/切」ボタンを押して、ディスプレイの右上に“”を表示させる。

- アラーム起動時は、“”が点滅します。
- アラームを止めるには、「アラーム入/切」ボタンを押します。
- 音量の調節はできません。

電子音 (BUZZER) の動作

最初に1分間鳴り続けた後AUTO SNOOZE機能が働き一時停止します。約10分間停止後、再び鳴り始めます。それを3回繰り返し4回目のアラーム後は翌日の同時刻まで停止します。

※音量の調節はできません。

ラジオ/iPod/CD/USB/SDの動作

徐々に音が大きくなります。60分間動作した後、翌日の同時刻まで停止します。

※アラームが鳴り始めてから、音量の調節をすることもできます。

アラームを解除する

- 1 アラームがセットされた状態で「アラーム入/切」ボタンを押す。

- ディスプレイの“”が消灯します。

スヌーズ機能について

鳴っているアラームを一時的に停止させます。

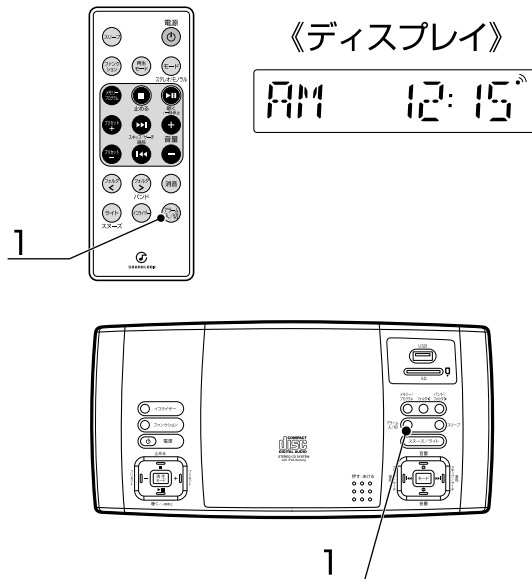
電子音 (BUZZER) の場合

- 鳴り始めの1分間に「スヌーズ/ライト」ボタンを押す。
ディスプレイに「**SNOOZE**」が表示され一時的にアラームが停止します。
- 約10分間停止後、再び鳴り始めます。それを3回繰り返し4回目のアラーム後は翌日の同時刻まで停止します。

※スヌーズ機能を解除するには、スヌーズ起動時に「アラーム入/切」ボタンを押します。
このとき、ディスプレイの“**SNOOZE**”が消灯します。

ラジオ/iPod/CD/USB/SDの場合

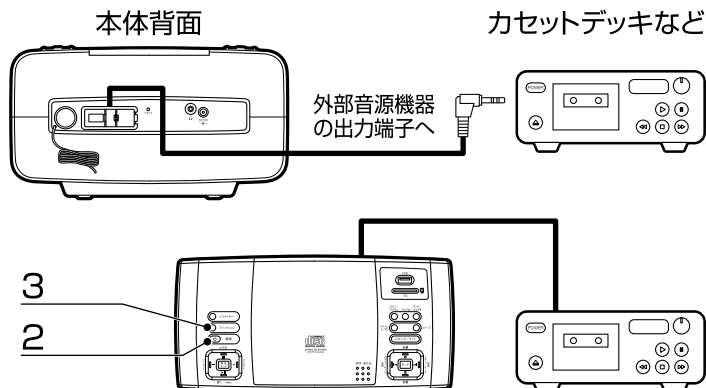
- 鳴り始めの2分間に「スヌーズ/ライト」ボタンを押す。
ディスプレイに「**SNOOZE**」が表示され一時的にアラームが停止します。
- 約10分間停止後、再び鳴り始めます。それを3回繰り返し4回目のアラーム後は翌日の同時刻まで停止します。



外部機器の音を聴くには

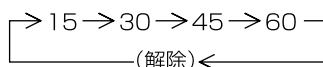
- 1 本体背面の音声入力プラグを、お使いになる外部音源機器に接続する。
- 2 「電源」ボタンを押す。
- 3 「ファンクション」ボタンを押して、AUXモードに切り換える。
・AUXモード時は“**AUX**”がディスプレイに表示されます。
- 4 外部音源機器の演奏を始める。

- 聴き終わったら、「電源」ボタンを押して電源を切ってください。



スリープ機能について

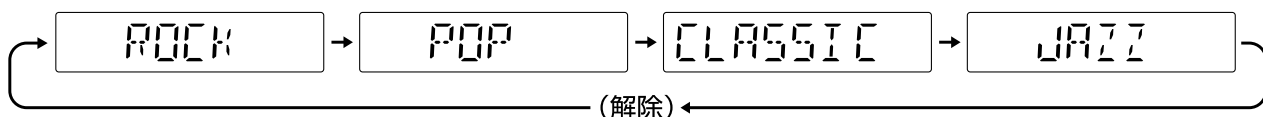
「スリープ」ボタンを押すと、設定した時間後に自動的に電源を切ることができます。
「スリープ」ボタンを押すごとに、以下のように設定できます。



- スリープタイマー動作中、「スリープ」ボタンを1回押すと、残り時間を確認することができます。

イコライザー機能について

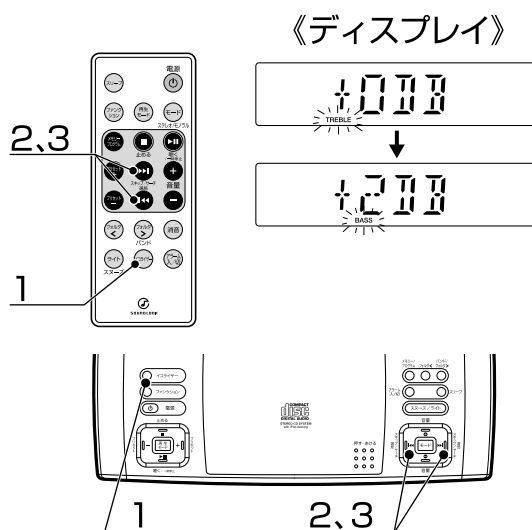
「イコライザー」ボタンを押すごとに、以下のようにイコライザー機能を切り換えることができます。
ディスプレイに“EQ”が表示されます。



また以下の操作で、TREBLEレベル、BASSレベルの設定を行うことができます。

- 約10秒間操作しないと、初期状態に戻ります。

1	「イコライザー」ボタンを長押しする。 ディスプレイに“TREBLE”が点滅表示されます。
2	「スキップ/サーチ/選局(◀▶)」「ボタンでお好みのTREBLEレベルに調節し、「イコライザー」ボタンを押す。 ディスプレイに“BASS”が点滅表示されます。 -6dBから+6dBまで2dB単位で調節できます。
3	「スキップ/サーチ/選局(◀▶)」「ボタンでお好みのBASSレベルに調節し、「イコライザー」ボタンを押す。 -6dBから+6dBまで2dB単位で調節できます。



- TREBLE/BASSレベルを0dB以外に設定した場合、ディスプレイにそれぞれ“TREBLE”“BASS”が点灯表示されます。

お手入れのしかた

本体のお手入れ

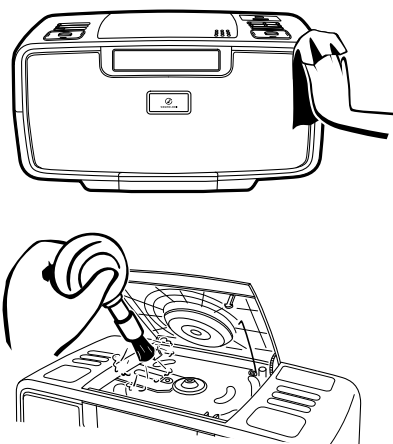
乾いた布でふいてください。
ひどいときは、水で布をしめらすか、薄めた中性洗剤を少し布につけ、よくしぼってふき、あとはからぶきをしてください。

ご注意

ベンジンやアルコール、シンナーなどではふかないでください。
本体をいためる原因となります。

レンズのクリーニング

ごみやほこりがついた場合
市販のブロアーでレンズを2～3回吹き、ブロアー先端のブラシでごみをはき出します。最後にもう一度、ブロアーでレンズを吹いてください。
※レンズ部には指紋や汚れをつけないようご注意ください。



故障かな？と思われたときは

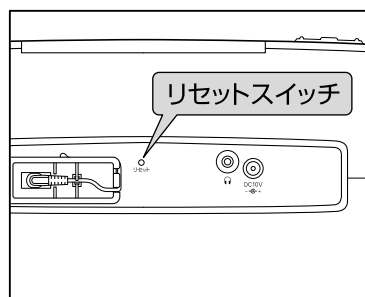
故障かな？と思われたときは以下の点をお調べください。
それでもなお異常があるときは、お買上げの販売店にご相談ください。

	症 状	チェックポイント	処置のしかた
共 通 部	電源が入らない。	ACアダプターが抜けていませんか。	ACアダプターを確実に差し込んでください。
	ボタン操作を受けつけない。		「リセット」スイッチを押して初期状態にし、もう一度試してください。
C D 部	CDの演奏が始まらない。 CDが入っているのに "NO DISC"と表示する。	CDディスクの表裏を間違えていませんか。 レンズが汚れていませんか。 レンズに霧や水滴がついていませんか。 CDディスクがひどく汚れていませんか。 ファイナライズ処理(通常のCDプレイヤーで再生できるようにする処理)をされていないCD-R/CD-RWディスクは再生できません。 CD-R/CD-RWでは、ディスクや記憶に使用したレコーダーの状態によって再生できない場合があります。	文字のある面を外側にしてください。 お手入れのしかたを参考にクリーニングしてください。 CDを取り出してCDドアを開け、1時間程置いてください。 汚れを落としてください。
	CDの音が飛ぶ。	強い振動を与えていませんか。 ディスクがひどく汚れていませんか。 ディスクに大きな傷はありませんか。 CD-R/CD-RWでは、ディスクや記憶に使用したレコーダーの状態によって再生できない場合があります。	振動を与えないでください。 汚れを落としてください。 ディスクを替えて試してください。 ディスクを替えて試してください。
USB・SD部	データを再生できない。	MP3/WMA形式以外のファイルを挿入していませんか。	本機で再生できるデータ形式はMP3/WMAのみです。 MP3/WMA形式のファイルを挿入してください。
i P o d 部	iPodの演奏が始まらない。 "NO IPOD"と表示する。	iPodがしっかりとiPodコネクタに差し込まれていますか。	iPodをしっかりとiPodコネクタに差し込んでください。

リセットスイッチ

使用中、ボタン操作を受けつけない時や動作がおかしい時は「リセット」スイッチを押してください。

- 先の細いもので押してください。
- 「リセット」スイッチを押すと出荷時の初期状態になります。時刻設定、アラーム設定等はすべて消去されます。
- 電源入・切どちらの状態でもリセットできます。



仕様

受信周波数	FM : 76.00~90.00MHz AM : 522~1629kHz	電源	AC100V 50-60Hz (付属ACアダプター使用時)
アンテナ	FM : ワイヤアンテナ AM : フェライトバーアンテナ内蔵	消費電力	19W
スピーカー	7.7cm(4Ω)×2個	最大外形寸法	約297(W)×145(D)×161(H)mm
出力端子	ヘッドホン端子×1	質量	約1.8kg
入力端子	音声入力プラグ×1	付属品	リモコン(ボタン電池付属)×1、 ACアダプター×1、 取扱説明書×1、保証書×1
実用最大出力	2.1W+2.1W(JEITA)		

●ACアダプターSAD-9012仕様

入力	AC100V 50-60Hz 21VA	コード長	約1.7m
出力	DC10V 1000mA	プラグ形状	φ3.5mm - +

※本機の仕様及び外観については、改良のため予告なく変更することがあります。

アフターサービスについて

1. 保証書

- 保証書は別途添付されています。
保証書はお買い上げの販売店で「販売店名・お買い上げ日」などの記入をご確認のうえ、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

2. 修理を依頼される時

- 保証期間中は
商品に保証書を添えてお買い上げの販売店にご持参ください。保証の記載内容により無料修理いたします。
- 保証期間が過ぎていた場合は
お買い上げの販売店にご相談ください。修理により使用できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

3. 補修用性能部品の保有期間

- ステレオCDシステムの補修用性能部品の保有期間は製造打切後6年です。
補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

4. アフターサービスについてご不明の場合

- アフターサービスについてご不明の場合には、お買い上げの販売店か、保証書に記載の小泉成器株式会社「サービスセンター」にお問い合わせください。

愛情点検		★長年ご使用の音響機器の点検を！	
	ご使用の際 このようなことは ありませんか？	●電源コードやACアダプターが異常に熱い。 ●電源コードに深いキズや変形がある。 ●コゲくさい臭いがする。 ●その他の異常、故障がある。	ご使用 中 止 このような症状の時は、故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントからACアダプターを抜いて必ず販売店にご相談ください。

お客様の個人情報のお取り扱いについて

お受けしましたお客様の個人情報は当社個人情報保護方針に基づき適切に管理いたします。また、お客様の同意がない限り、業務委託をする場合及び法令に基づき必要と判断される場合を除き、第三者への開示は行ないません。

＜利用目的＞

お受けしました個人情報は、商品・サービスに関わるご相談・お問い合わせ及び修理対応のみを目的として使用させていただきます。尚、この目的のために小泉成器株式会社及び関係会社で上記個人情報を利用することがあります。

＜業務委託の場合＞

上記目的の範囲内で対応業務を委託する場合、委託先に対しては当社と同等の個人情報保護を実施させるとともに適切な管理・監督をいたします。

■お客様相談窓口

この商品に関するご意見・ご質問については下記へお寄せください。

小泉成器株式会社 本社 〒541-0051 大阪市中央区備後町3丁目3番7号



ナビダイヤル
(全国共通番号)

TEL. 0570(07)5555

TEL.06(6262)3561

FAX.06(6264)5170

■サービスセンター

・修理センター

この商品の修理に関するお問い合わせについては下記へお寄せください。

東日本修理センター 〒344-0127 埼玉県春日部市水角1190

西日本修理センター 〒559-0033 大阪市住之江区南港中1丁目3番98号



ナビダイヤル
(全国共通番号)

TEL. 0570(05)8888

・部品センター

この商品の部品に関するお問い合わせについては下記へお寄せください。

部品センター 〒559-0033 大阪市住之江区南港中1丁目3番98号



ナビダイヤル
(全国共通番号)

TEL. 0570(00)3211

お客様相談窓口

／サービスセンターの受付時間

平日9:00～17:30

(土・日・祝日・夏季休暇・年末年始を除く)

2010年4月現在（所在地、電話番号などについては変更がある場合がありますので、その節はご容赦願います。）